


【教材・教具解説シート】

教材・教具名	鉄琴補助具
教科（分類）	音楽科（器楽）
<p>教材・教具写真</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div data-bbox="147 424 913 860" style="width: 35%;">  </div> <div data-bbox="943 416 1516 799" style="width: 60%; border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p>使い方：児童が鳴らす音のところに、支援者が穴を移動させる。児童は穴の部分をつたたくことで伴奏の和音に合った音やメロディーの音を鳴らすことができる。</p> <p>作り方：画用紙で鉄琴の低音の方の一音より一回り大きな枠を切り抜く。</p> </div> </div> <div data-bbox="232 895 2007 1110" style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>支援者の指差しで、できる児童には不要。指差しだと他のところをたたいてしまう児童用に作った。</p> <p>今回は、増田祐子作曲の「くるるんかさ」という曲で使用した。5小節目から、C、Dm、Em、F、G、Am、B♭、Cなので、1小節ずつ鉄琴をドレミファソラシドと一個ずつスライドするように動かす。穴でない紙の部分をつたたくと音がよく鳴らない。穴の部分をつたたくよう意識させる。</p> </div>	
<p>1 児童生徒の実態</p> <p>鉄琴や木琴を2音以上の音階を弾くときに、拍意識があるのに、他のいろいろなところをたたいてしまう児童。</p>	
<p>2 期待する効果、伸ばしたい力</p> <p>伴奏にあった音やメロディーを自分で出させることを通して、曲の和音に合った音の響きを感じたり、メロディーを意識しメロディーを弾こうとする意識や意欲を高める。</p>	